

卒業後の状況調査票（特別支援学校 中学部）

— 令和3年5月1日現在 —

(様式第28号)

統計法に基づく基幹統計調査



統計法に基づく国の統計調査です。調査情報の秘密の保護に万全を期します。

1 学校の所在地 (市区郡) (町村) (番地) 2 (フリガナ) 学校名

3 設置者別 (1 国立, 2 公立, 3 私立) 4 本校分校別 (1 本校, 2 分校) 校長氏名 取扱者氏名

「7」の産業分類表

Table with 2 columns: 調査票の分類 (第1次産業, 第2次産業, 第3次産業, 左記以外のもの) and 左の分類を含む大分類 (「日本標準産業分類」による)

都道府県番号 学校調査番号 2

特別支援学校中卒

Main table for graduation status (5 状況別卒業生数) with columns for A (高等学校等進学者), B (専修学校), C (専修学校), D (開発施設等), E (就職者等), F (左記以外の者), G (不詳・死亡の者), and H (計)

Table for graduation status (6 「5」の卒業生総数のうち高等学校(本科)等への入学志願者数) with columns for 区分, 高等学校(本科), 中等教育学校後期課程(本科), 高等専門学校, 特別支援学校, 計

Table for employment status (7 就職先の産業別就職者数) with columns for 性別, 第1次産業, 第2次産業, 第3次産業, 左記以外のもの, 計

1 本校と分校(正規の手続を完了したもの)は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は本校で取りまとめ、校長から提出する。
2 数字は、□□□□の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
3 「都道府県番号」、「学校調査番号」及び「3」、「4」の各欄は、正しい番号が記入されているか。
4 符号a~uは、調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
5 「各々の入学志願者数」は、「各々の高等学校等進学者数」より大きいのか又は等しくなっているか。
6 「計」欄のあるところは、必ず検算をする。